



令和3年度四国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務 報告書(概要版)

四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO)

受託団体
特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク

1. はじめに

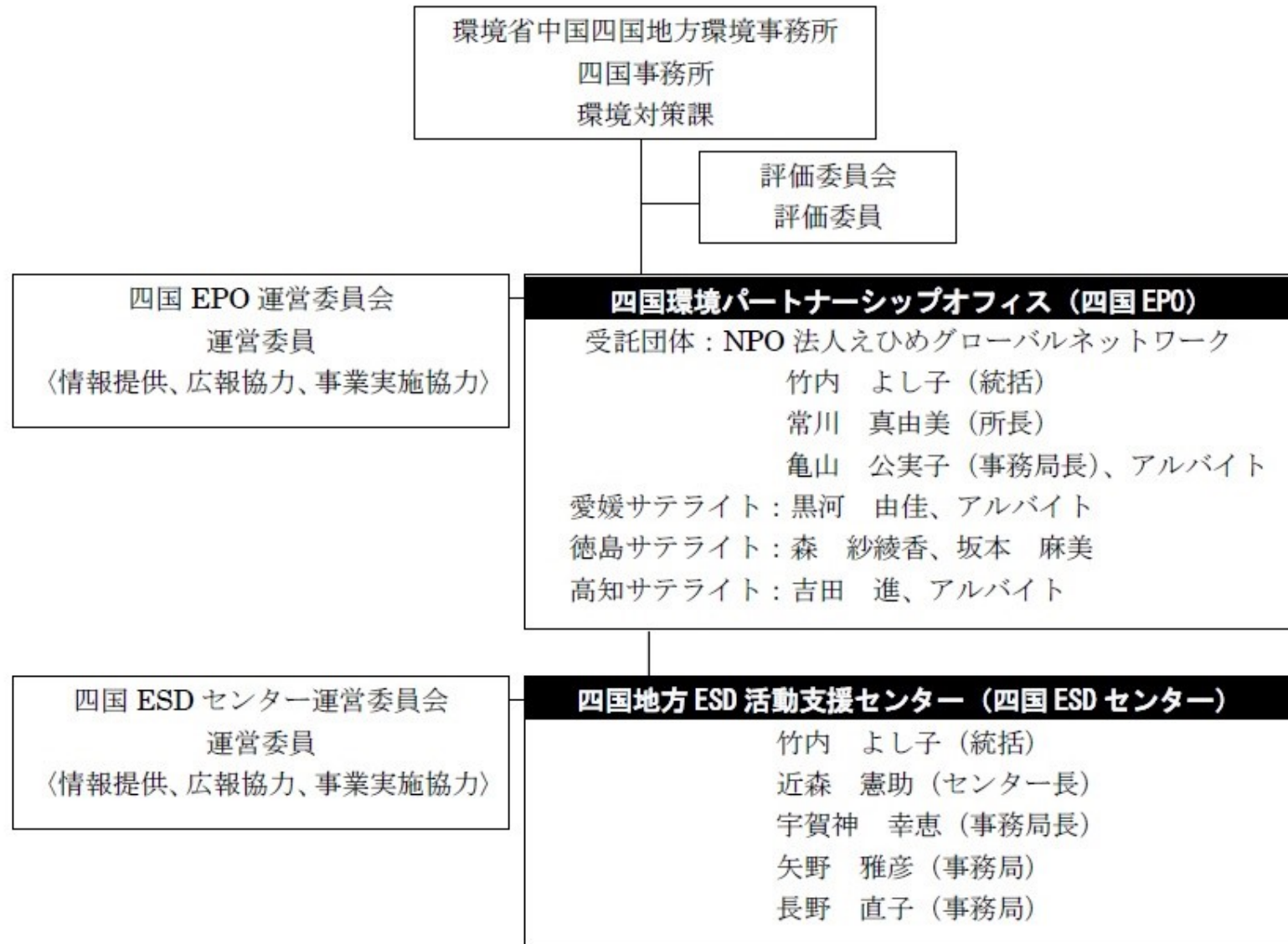
- 持続可能な社会を構築する上で、国民、民間団体等が行う環境保全活動並びにその促進のための環境保全の意欲の増進及び環境教育が重要であることに加え、これらの取組を効果的に進める上で協働取組が重要となる
- 「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」第7条で定める国の方針により、環境省においては「環境パートナーシップオフィス(EPO)」を全国8か所に設置し、中国四国地方環境事務所四国事務所管内においては「四国環境パートナーシップオフィス(以下「四国EPO」)」を平成19年1月に設置し、運営している
- 「第5次環境基本計画」(平成30年4月閣議決定)で提唱された「地域循環共生圏」の考え方により、各地域が自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し、支え合う取組を推進し、持続可能な地域づくりを通じて、環境で地方を元気にしていくとともに、持続可能な社会を構築するための創造への取組が進められている
- 四国地域では、地域循環共生圏の構築の手段として、令和3年2月17日にローカルSDGs 四国(略称:LS 四国)が設立され、四国EPOが事務局を担うことになった。LS 四国の運営において、四国地域の実状を踏まえて各種業務等の企画、実施を行い、市民、NPO/NGO、行政、企業等、社会を構成する様々な主体による取組との協働、連携及び支援により、効果的・効率的な地域循環共生圏の創造、環境保全活動、多種多様な環境施策への協力及びESD 活動等を活性化させることが求められている

今年度(令和3年度)事業に関わる特筆事項

今年度も仕様書の内容に基づいた業務を実施することができた。事業実施のポイントとして、以下の4つの観点を上げたい。

- ①新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から、時期や感染状況に応じて、ハイブリットや全面オンライン開催等の判断を行い、開催した。
- ②LS四国を立ち上げて本格的な活動を行う最初の年となったことから、各種イベントの開催においては関係者と相談・調整を行いながら実施した。
- ③スタッフのリモートワーク実施に向けたルールの明確化や環境整備と体制づくりを推進することができた。

事業実施体制



2. 業務の方針

- 「地域循環共生圏」の構築についてESD の考え方を基本としたLS 四国の運営を考慮する
- 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、都内開催の会議等への参加は必要に応じてオンラインで対応することを想定する。
- 業務内容については、四国EPOの運営委員会において検討を行い、地方環境事務所と協議した上で、地域のバランスに配慮して実施する。また、当該業務実施報告は、四国EPOのホームページにおいて公表する。

(1) 中間支援機能の強化

(2) 相談対応及び情報収集・発信

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

(4) 他団体主催会議等への参加

(5) 四国事務所との打ち合わせ

(1) 中間支援機能の強化

各県サテライトデスクを拠点とした体制により、各主体のニーズに応じた講演や各主体間の連携につながるシーズ情報の提供、各県で県が主催する委員会の委員や審査等に協力、協働での事業実施等、主体間の関係深化や新たなネットワークの構築へと展開した。




10月24日、11月7日、12月19日
「環境×みらいプロジェクト」
(香川県高松市)



12月11日
6主体共催による気候変動講演会
(香川県高松市)

(2) 相談対応及び情報収集・発信

SDGsや脱炭素に関する相談対応が増え、今まで以上に企業や学校等などと新たな関係性をつくることができた。講演等では他団体と連携をして、活動の活性化につながる機会づくりを行った。



香川県での 持続可能な地域づくりと 脱炭素の取り組み可能性

四国環境パートナーシップオフィス
所長 常川 真由美

1

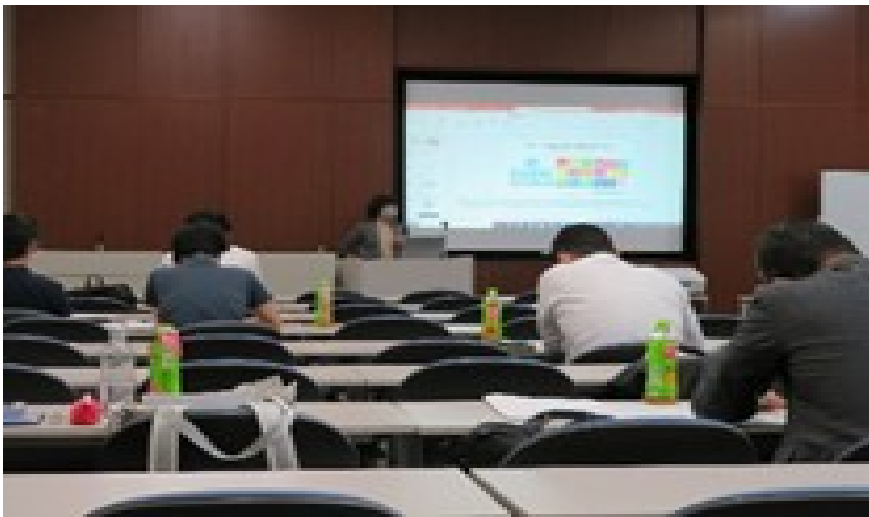


8月20日
Go To 脱炭素セミナー香川県
～脱炭素目標を定め、
今後の市民活動のあり方を探りだそう！～
(オンライン)

12月7日
徳島市立図書館スタッフ研修
(徳島県徳島市)

(2) 相談対応及び情報収集・発信

運営委員の協力により機会を得た講演やイベント等で、より持続可能な社会の実現に向けた情報や知見を提供した。



10月6日

四国生産性本部主催「事業開発研究会」
SDGsから今後のビジネスを考える
～地域課題の解決に向けた協働の可能性～
(香川県高松市)



11月21日

宇和島域内連携促進事業
(愛媛県宇和島市)

(2) 相談対応及び情報収集・発信

紙媒体やSNS、他団体やEPOネットワークの協力で、取組やSDGsなどについて情報発信を行った。



四国のSDGs展



紙媒体「しこくえぼ」

1月14日
令和3年度「ストップ！
地球温暖化展」展示
(香川県高松市)

1月26日～3月27日
五色台ビジターセンター
「四国のSDGs展展示」
(香川県坂出市)

Facebook



Facebook

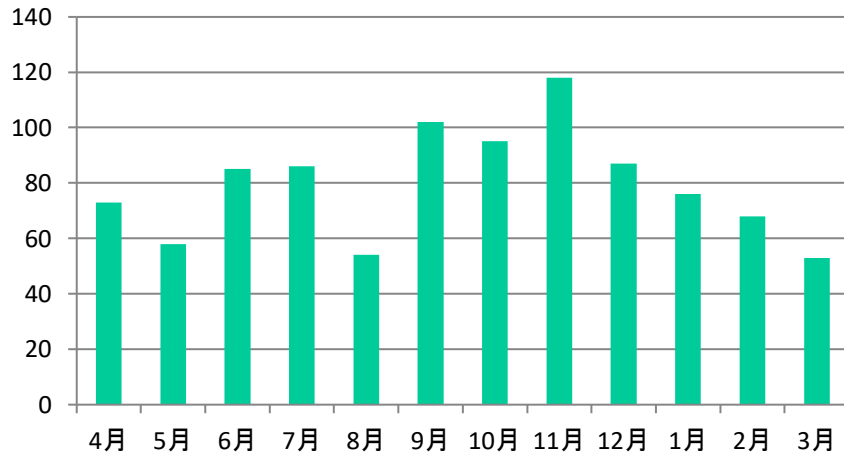
(2) 相談対応及び情報収集・発信① (新聞情報登録件数の推移)

新聞情報件数の推移

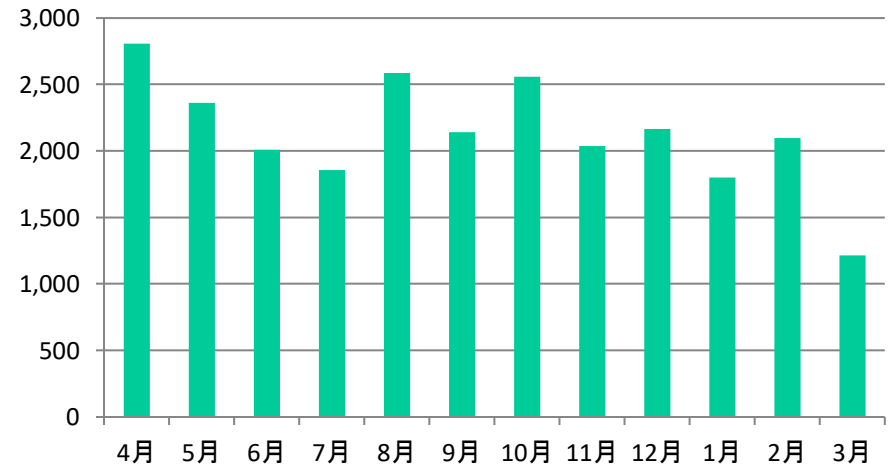


(2) 相談対応及び情報収集・発信② (HP掲載件数・閲覧者件数の推移)

HP掲載件数

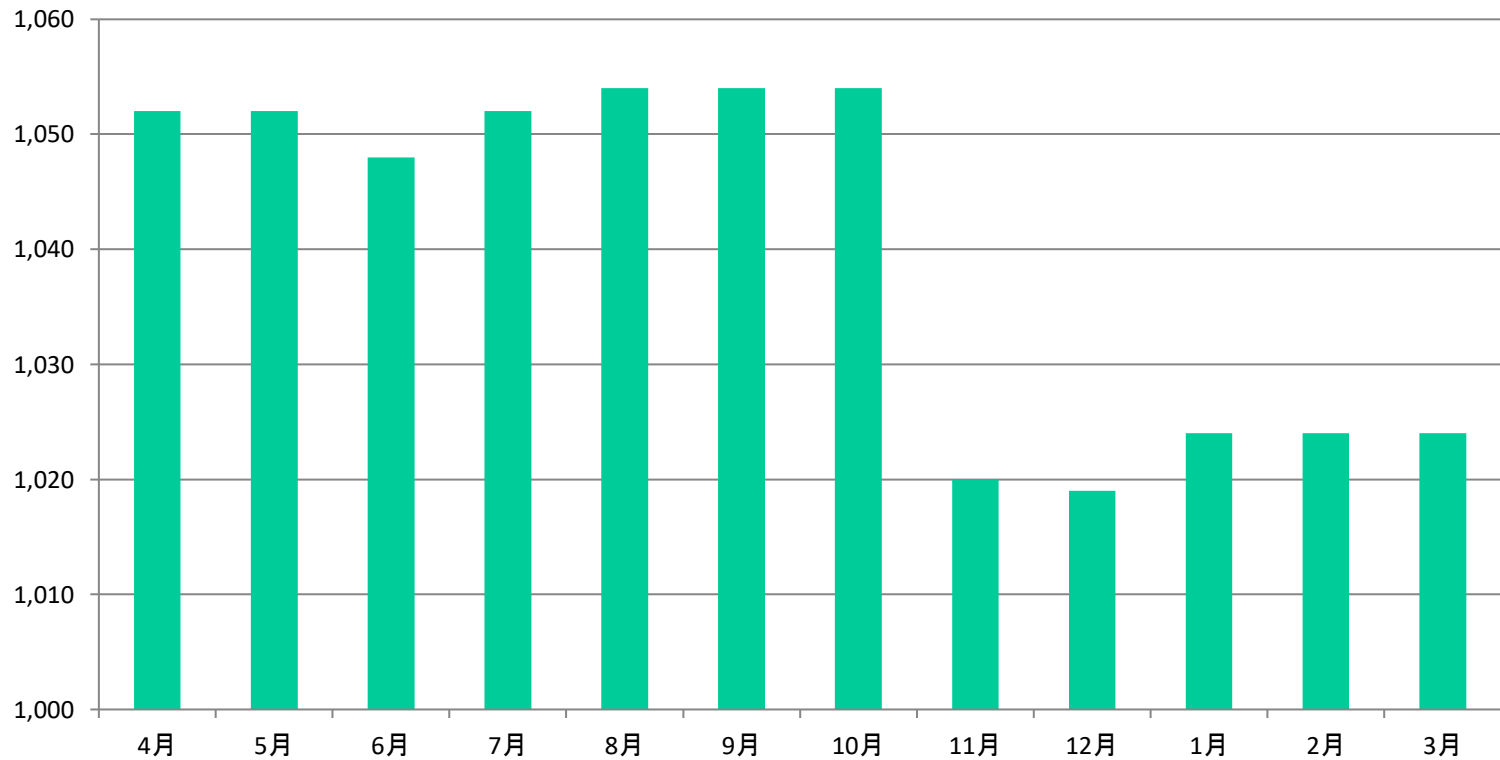


HP閲覧者数



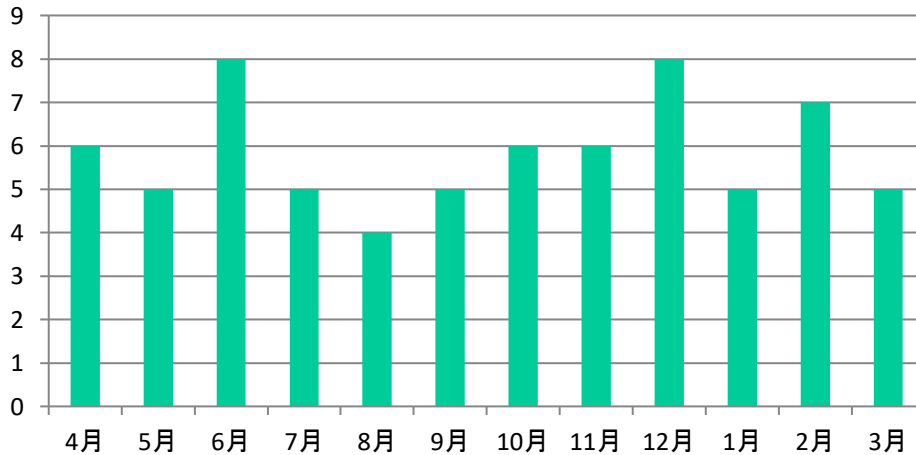
(2) 相談対応及び情報収集・発信③ (メルマガ登録数の推移)

メルマガ登録者数

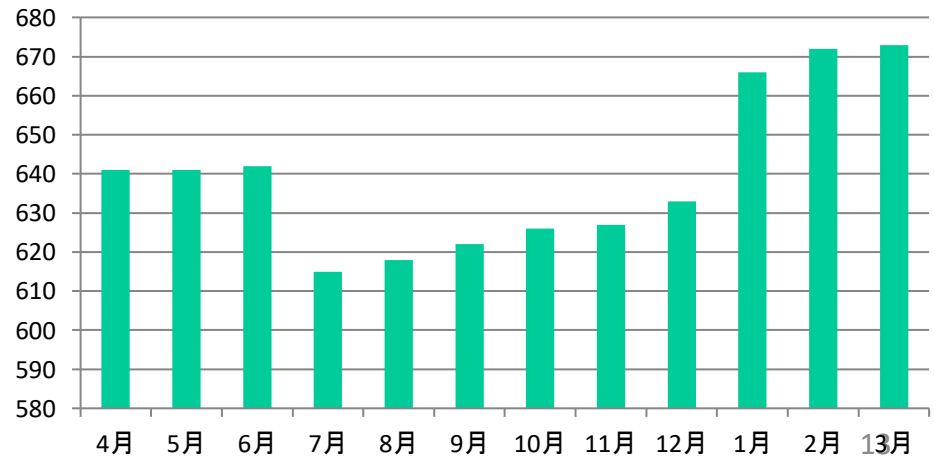


(2) 相談対応及び情報収集・発信④ (Facebook掲載件数と登録者数の推移)

FB掲載数

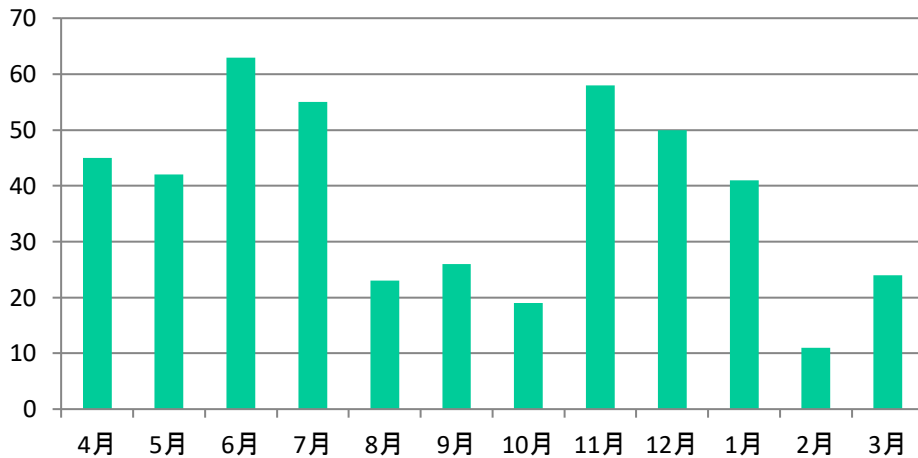


FB登録者数

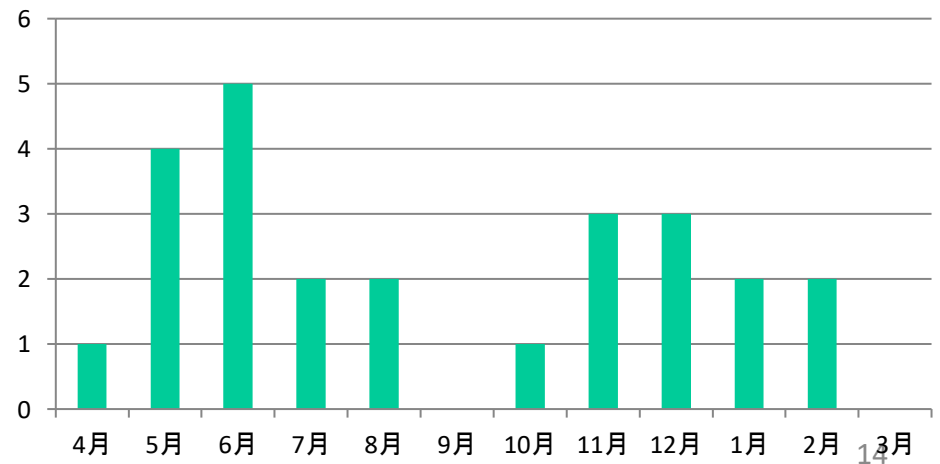


(2) 相談対応及び情報収集・発信⑤ (スペース利用件数と訪問者数の推移)

訪問者数

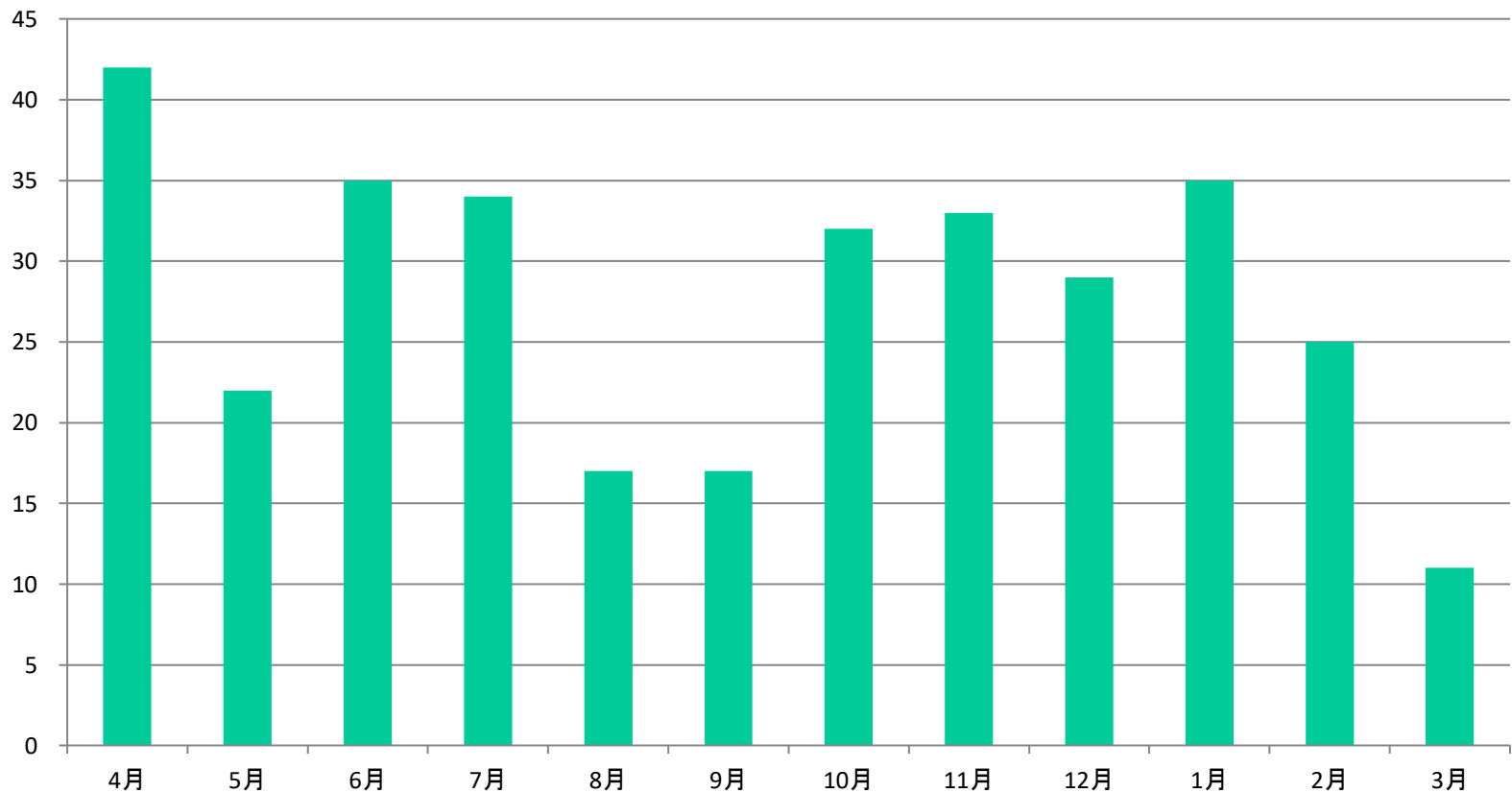


利用者数



(2) 相談対応及び情報収集・発信⑥ (相談件数の推移)

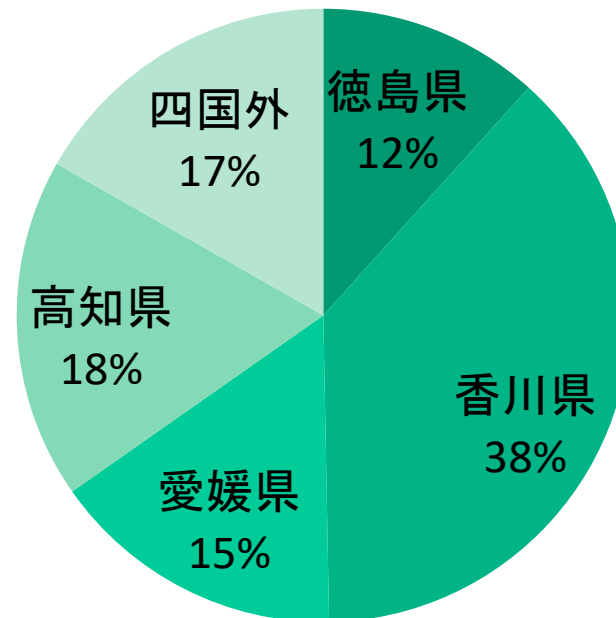
相談件数



(2) 相談対応及び情報収集・発信⑦ (相談地域の内訳)

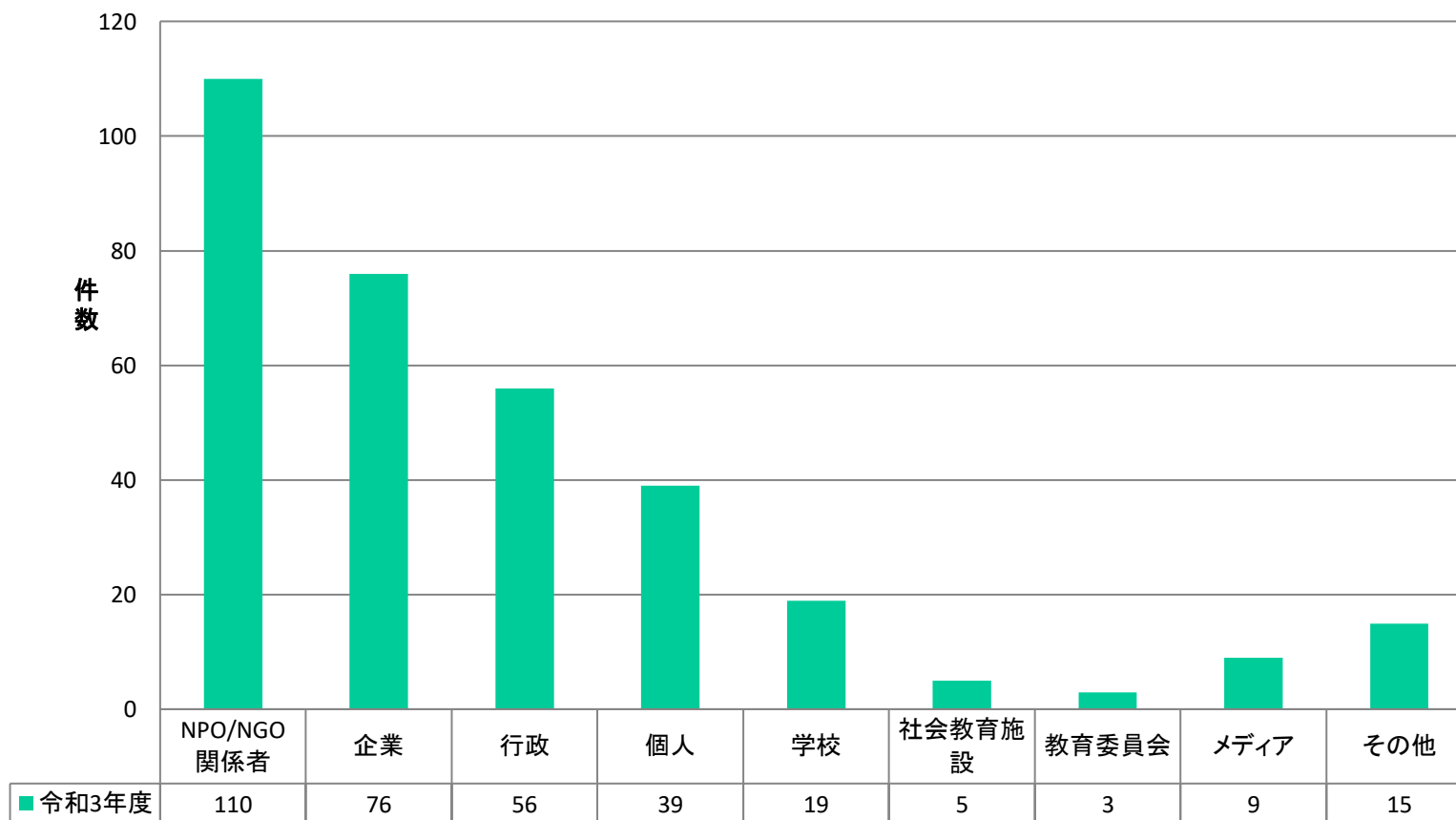
相談のあった地域の内訳

N=334

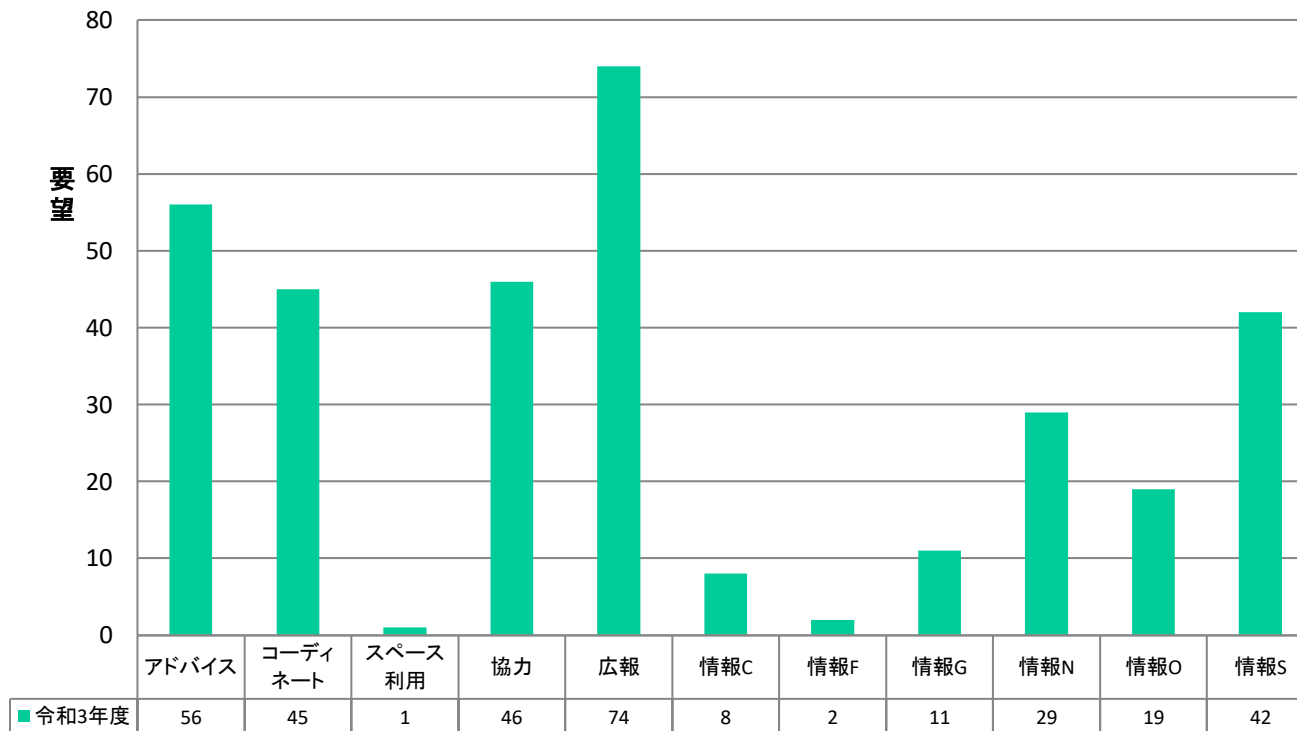


(2) 相談対応及び情報収集・発信⑧ (セクターの内訳)

相談のあったセクターの内訳



(2) 相談対応及び情報収集・発信⑨ (相談要望の内訳)



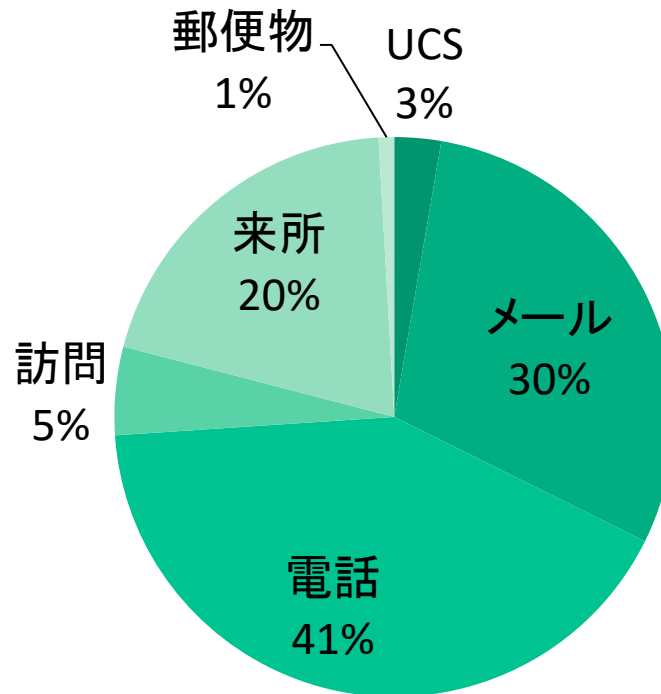
情報内訳補足

NPO等(個人含む)に関するもの	N	NPO等(個人を含む)の人材・団体・活動に関するもの
行政に関連するもの	G	行政に関連する制度や事業に関するもの
企業に関するもの	C	企業に関するもの
専門的なもの	S	専門的なもの(ダンボールコンポスト、CO2固定など)
助成金や資金調達に関するもの	F	助成金や資金調達に関するもの
その他	O	その他の情報

(2) 相談対応及び情報収集・発信⑩ (相談時のアクセス方法・手段)

相談時のアクセス方法

N=334



(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

ア 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業支援等業務

「かみかつ茅葺き学校」に対するマッチング、意見交換会や中間・成果報告会などに関して、資料作成補助、伴走支援を行った。



6月23日
かみかつ茅葺き学校と真庭市との
茅産業の立ち上げ方相談会
(オンライン)



9月1日、12月7日
かみかつ茅葺き学校定例会
(徳島県上勝町)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

ア 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業支援等業務

「(一社)をかしや」に対するヒアリング、意見交換会や中間・成果報告会などに関して、資料作成補助、伴走支援を行った。

【具体的なプラン】

(1) ステークホルダー向けWS

時期	テーマ	内容	会場
6月	顔合わせ&ツアー体験	顔合わせ、意見交換、気川溪谷エコツアー体験	今治市鈍川
9月	ワーケーション勉強会	専門家を招いてのワーケーション勉強会	松山市奥道後泉
12月	そうだ中島、行こう。	中島を訪問し、ワーケーションおよびマイクロツーリズムの可能性を探る	中島ほしふるラス
2月	ビジョン作成	総決算としてワークショップを行いビジョン作成	今治市某所

(2) 住民向け座談会

時期	テーマ	場所
7月	島暮らしの理想と現実	今治市大三島or市内
11月	憧れの離島ライフ。「夢を叶える方法」を先輩に聞きました	松山市中島or市内



10月12日、12月16日
R317プロジェクト(一社)をかしや定例会
(オンライン)

1月21日
R317プロジェクト
次年度事業検討ワークショップ
(会場(愛媛県松山市)・オンライン)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

ア 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業支援等業務

「(特活)NPO84プロジェクト」に対するマッチング、意見交換会や中間・成果報告会などに関して、資料作成補助、伴走支援を行った。



5月24日、7月12日、8月30日
NPO84プロジェクト定例会
(オンライン)



1月20日
NPO84プロジェクト
環境省環境計画課面談
(オンライン)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

ア 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業支援等業務

支援チーム派遣団体となる「(特非)とくしまコウノトリ基金」に対して、進捗状況の把握にかかるイベント参画や全国事務局請負者の求めに応じた助言等を行った。



8月1日
コウノトリポタリングモニターツアー
(徳島県鳴門市)



10月21日
(特非)とくしまコウノトリ基金
意見交換会
(徳島県鳴門市)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 イ 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

ローカルSDGs四国（LS四国）の設立



背景

四国は、急速に進行する人口減少や高齢化、大規模自然災害の発生などにより、地域の存続に関わる難題に直面しており、次世代に伝えたい地域資源や固有価値、私たちの日々の暮らしや産業活動にまでも影響を与えている。

このような四国の地域課題を解決し、地方創生の成果を確かなものとし、持続可能な地域づくりを進めていくためには、「**地域循環共生圏 = ローカルSDGs**」の達成に向けた取組を積極的に推進することが重要であると考え、この度、この取組を推進するプラットフォームとして「**ローカルSDGs四国（略称：LS四国）**」を立ち上げることにした。（令和3年2月17日設立）



(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 イ 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

企画・運営委員会の 運営体制

共同代表

近森 憲助(鳴門教育大学名誉教授 高知学園大学学長)

上田 健二(環境省中国四国地方環境事務所長)

副代表

島田 治男(香川県中小企業家同友会 副代表理事)

小林 秀弥((独)国際協力機構四国センター(JICA四国)所長)

谷川 徹(四国生物多様性ネットワーク事務局)

笠井 誉子((株)reクラーレ代表取締役、(特非)徳島の女性を元気にする会理事長)

委員

徳島県危機管理環境部グリーン社会推進課長

香川県環境森林部環境政策課長

愛媛県県民環境部環境局環境政策課長

高知県林業振興・環境部環境計画推進課長

事務局

環境省中国四国地方環境事務所四国事務所

四国環境パートナーシップオフィス

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 イ 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

企画・運営委員会を開催し、新規入会申込やイベント等の報告、今後の事業における意見交換を行い、LS四国の運営を行った。

企画運営委員会の審議と承認を得た事項について、総会で承認を得た内容について、事業運営を行った。



5月20日、7月7日、10月21日
「企画・運営委員会」開催
(オンライン)

7月7日
「LS四国令和3年度総会」開催
(オンライン)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 I 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

「持続可能な地域経済社会の活性化に向けた連携チーム」(金融庁と環境省)と協働で、各種セミナーやダイアログを開催した。先進事例の発信や、登壇者からの課題提供、参加者との課題の深堀からマッチングにつながる機会を創出することができた。

ESG金融/SDGsビジネスセミナー in 四国の開催について

この度、ローカルSDGs意識、金融庁と環境省の連携チームおよびESG金融推進協議会・ESG金融推進ワーキンググループの協賛を受け、金融庁の協賛により、オンラインプラットフォームの活用において、関係機関と協働しての開催となる。また、ESG金融推進協議会・ESG金融推進ワーキンググループの協賛を受け、「ESG金融推進ガイド」を参考に、ローカルSDGsの観点から考えるセミナーを開催いたします。

日本経済新聞発行より竹下啓博氏、金融庁より日下智博氏をお迎えし、四国の連携チームを通じて四国の皆様と一緒に考えを深める機会といたします。オンライン開催となりますので、ぜひ御参加下さい。

※1:「ESG金融推進ガイド」<http://www.env.go.jp/press/files/jp/115981.pdf>

開催日時	2021年5月28日(金) 14:30~17:00 (14:20 受付開始)
会場	Zoom (完全オンライン開催) 定員 200名程度
内容	(要約)
第1部	<p>【開会挨拶】 福原尚</p> <p>【講演】 ESG金融推進の実践に向けて 竹下 啓博 (株)日本経済新聞発行 執行役員 産業環境本部部長</p> <p>【講演】 地域経済エコシステム構築に向けて 日下 智博 金融庁 監理官総務局総務課課長補佐 兼 課長</p> <p>【ローカルSDGs意識について】 ローカルSDGs推進協議会</p> <p>【プレクワートルーム】 各発表者との意見交換会 (モデレーター) ①竹下 啓博 (株上) ②日下 智博 (株上) ③ローカルSDGs意識 提供</p>
第2部	<p>【講演】 四国の実践的ESG金融紹介 小川 隆 三井住友銀行 環境金融推進部 部長 兼 環境推進部 法人関係課 課長</p> <p>【講演】 四国の実践的ESG金融紹介 平野 眞三 合同会社 代表 兼 代表社員</p> <p>【プレクワートルーム】 各発表者との意見交換会 (モデレーター) ①小川 隆 (株上) ②平野 眞三 (株上) ※上記は、各発表者のルームを2ルーム設定、ディスカッションをいただく予定です。</p> <p>【お知らせ】</p> <p>【開会挨拶】 福原尚</p>



SDGs未来都市選定自治体から学ぶ!
SDGsの視点を取り入れたまちづくり

運営からのお願い

- ・入室前はマイクはミュートしておきます。また、可能な状況であればカメラはオフしておきます(発表者に参加者の反応がわかりやすくなります)。
- ・後述でのレコーディング、撮影(スクリーンショット)はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。
- ・Zoomチャットにご自由に質問や感想などご記入ください。
- ・イベント終了後に希望者の参加による「SDGs未来都市とのフリーディスカッション」を開催します(30分程度)。ご都合の許す方はぜひご参加ください。
- ・その他ご不明な点等ございましたら、チャットもしくは下記連絡先にご連絡ください。

【緊急連絡先】
四国循環共生圏パートナーシップオフィス(四国LPD)
TEL:087-816-2332

【開始までお待ちください】

5月28日
ESG金融/SDGs
ビジネスセミナーin四国
(オンライン)

11月25日
四国の森林活用ダイアログDAY1
12月22日
四国の森林活用ダイアログDAY2
(オンライン)

7月7日
SDGs未来都市
選定自治体から学ぶ!
SDGsの視点を取り入れた
まちづくり(オンライン)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

イ 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

地域課題の解決や、魅力ある持続可能な四国づくりに向けた取組を多様な主体と協働で展開し、LS 四国のビジョン達成に貢献した団体や取組を広く紹介することを目的に「ローカルSDGs四国表彰」を新設し、審査会を経て、賞を選定した。



地域課題解決部門 チャレンジ部門 ユース部門

第1回 ローカルSDGs 四国表彰 募集

ローカルSDGs 四国 (LS 四国) とは、「いのち輝く、青い国・四国を次世代へ」というビジョンに向けて、自然資源の恵み・つながりを活かし、伝え、地域・社会がそれぞれの特性を発揮しながら、連携して支え合い、SDGs の目指す環境・社会・経済の調和を回りながら持続発展する、活力あふれる四国地域の創造を目指して、2021年2月17日に立ち上がったプラットフォームです。

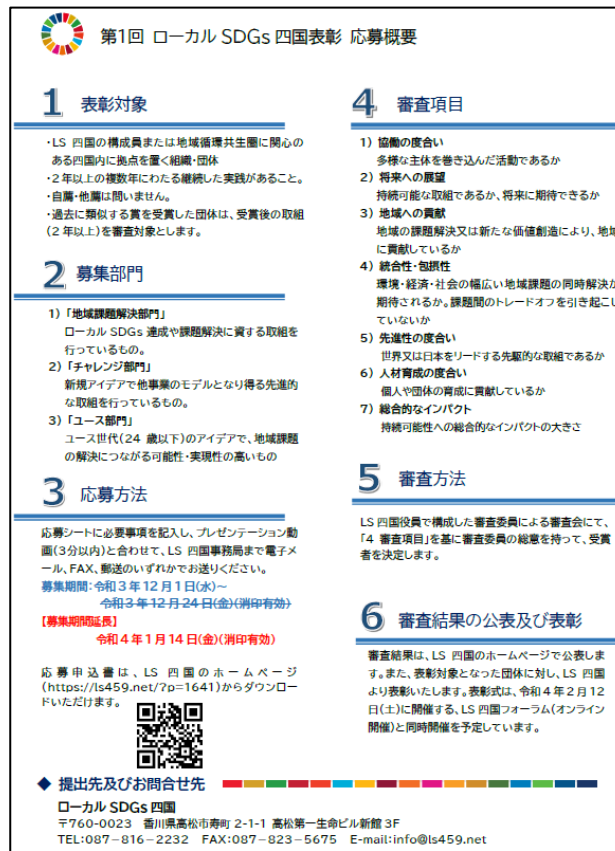
この度、多様な主体と協働で、地域課題の解決を目指し魅力ある持続可能な四国づくりに向けた取組を展開し、LS 四国のビジョン達成に貢献した団体や、優れた取組を表彰し、広く紹介する「ローカルSDGs 四国表彰」を新設しました。SDGs (持続可能な開発目標) やローカルSDGs (地域循環共生圏) などの概念を含め、LS 四国のビジョン達成に貢献する取組を展開している団体や取組を募集します。

(応募詳細については裏面をご覧ください。)

※ローカルSDGs (地域循環共生圏) とは
環境・経済・社会の課題が相互に関連しあう中、地域がそれぞれの資源を持続可能な形で活用し、課題の同時解決を目指しながら、自立・分散を目指す一方で、近隣地域とも補完し、支え合う関係性を創造する考え方で、SDGs を達成するためのアプローチとして、第5次環境基本計画に位置付けられています。

【募集期間延長】
募集期間: 令和3年12月1日(水) ~ 令和4年1月14日(金)

主 催: ローカルSDGs 四国
共 催: 四国地方 ESD 活動支援センター(四国 ESD センター)、ESD 活動支援センター



第1回 ローカルSDGs 四国表彰 応募概要

1 表彰対象

- ・LS 四国の構成員または地域循環共生圏に関心のある四国内に拠点を置く組織・団体
- ・2年以上の複数年にわたる継続した実践があること。
- ・自薦・他薦は問いません。
- ・過去に類似する賞を受賞した団体は、受賞後の取組(2年以上)を審査対象とします。

2 募集部門

- 1) 「地域課題解決部門」
ローカルSDGs 達成や課題解決に資する取組を行っているもの。
- 2) 「チャレンジ部門」
新規アイデアで他事業のモデルとなり得る先進的な取組を行っているもの。
- 3) 「ユース部門」
ユース世代(24歳以下)のアイデアで、地域課題の解決につながる可能性・実現性の高いもの


3 応募方法

応募シートに必要事項を記入し、プレゼンテーション動画(3分以内)と合わせて、LS 四国事務局まで電子メール、FAX、郵送のいずれかでお送りください。

募集期間: 令和3年12月1日(水) ~ 令和3年12月24日(金)(消印有効)

【募集期間延長】
令和4年1月14日(金)(消印有効)

応募申込書は、LS 四国のホームページ (<https://ls459.net/?p=1641>) からダウンロードいただけます。



4 審査項目

- 1) 協働の度合い
多様な主体を巻き込んだ活動であるか
- 2) 将来への展望
持続可能な取組であるか、将来に期待できるか
- 3) 地域への貢献
地域の課題解決又は新たな価値創造により、地域に貢献しているか
- 4) 統合性・包摂性
環境・経済・社会の幅広い地域課題の同時解決が期待されるか。課題間のトレードオフを引き起こしていないか
- 5) 先進性の度合い
世界又は日本をリードする先進的な取組であるか
- 6) 人材育成の度合い
個人や団体の育成に貢献しているか
- 7) 総合的なインパクト
持続可能性への総合的なインパクトの大きさ

5 審査方法

LS 四国役員で構成した審査委員による審査会にて、「4 審査項目」を基に審査委員の総意を持って、受賞者を決定します。

6 審査結果の公表及び表彰

審査結果は、LS 四国のホームページで公表します。また、表彰対象となった団体に對し、LS 四国より表彰いたします。表彰式は、令和4年2月12日(土)に開催する、LS 四国フォーラム(オンライン開催)と同時開催を予定しています。

◆ 提出先及びお問合せ先

ローカルSDGs 四国
〒760-0023 香川県高松市寿町 2-1-1 高松第一生命ビル新館 3F
TEL:087-816-2232 FAX:087-823-5675 E-mail:info@ls459.net

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 I 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

「第1回ローカルSDGs四国表彰」受賞者決定！



ローカルSDGs四国大賞

※ユース部門優秀賞と
合わせての受賞

◆愛媛県立南宇和高等学校(愛媛県)
(愛南ゴールドから始まる持続可能なまちづくり
～グローバルGAP認証から東京オリンピック・パラリン
ピックへ～)

優秀賞

【優秀賞】地域課題解決部門
◆高知商業高等学校生徒会(高知県)
(わたしたちのラオス学校建設活動)

【優秀賞】チャレンジ部門
◆株式会社タイチ(愛媛県)
(持続可能な養殖への挑戦)

【優秀賞】審査委員特別賞
◆株式会社阿波銀行(徳島県)
(徳島の森を守る活動 with あわぎんai-mo通帳)
◆株式会社エコマスター(香川県)
(トンネルコンポスト方式を用いた燃やせるごみの
リサイクルによるCO2削減)

2月12日
第1回ローカルSDGs四国表彰式・フォーラム開催
(オンライン)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 I 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

先進事例紹介の後、LS四国の分科会活動等による活動紹介、グループごとに分かれ、参加者との意見交換を行うことで、課題の深堀やマッチングにつながる機会を創出することができた。



**ローカルSDGs 四国
表彰式&フォーラム 開催!**

令和4年
2月12日(土)

魅力ある持続可能な四国を目指す「ローカルSDGs 四国」。令和3年2月17日に立ち上げてから1年が経ちました。この1年間で新たな仲間が増え、新たなつながりも生まれました。本フォーラムでは、LS四国や各分科会の活動報告のほか、持続可能な四国づくりについて一緒に考え、アイデアを出し合う場も設けます。みなさまの取組の仲間探しも兼ねて、ぜひご参加ください。

10:00~11:30 表彰式
13:00~15:30 フォーラム
15:30~16:00 ネットワーキング

会場 オンライン
定員 100名
参加費 無料

表彰式 10:00~11:30
「魅力ある持続可能な四国づくりにつながる優れた取組を表彰し、広く紹介する「ローカルSDGs 四国表彰」が今年度より新設されました。以下3部門ならびに審査委員特別受賞者による表彰発表と表彰を行います。
1)ローカルSDGs 四国大賞
2)地域課題解決部門 3)チャレンジ部門
4)ユース部門 5)審査委員特別賞

フォーラム 13:00~15:30
ローカルSDGs 先行事例発表
「持続可能な人々とコソトリの共存をめざして」
講師 安部 亮
(NPO法人とくしまコソトリ推進事務局)
農林におけるコソトリの存在と、地域の課題を共有し実現することを目指す。調査結果を半年に渡り実施可能なNPOです。取組の進捗から色々とご質問させていただきます。

ネットワーキング 15:30~16:00
参加者同士で「くまぼらん」語る時間を行いました。お気軽にご参加ください。(任意参加)

申込み/問合せ
参加ご希望の方は以下申込フォームよりお申込みください。
<https://us02web.zoom.us/joining/register/1ZMduCzr311-81.com/EVhY5GvZwJaPaAsu035>
※開場までにZoomのリンク先をご確認ください。
※前日までにZoomのリンク先がなかった場合は恐れ入りますがお問合せください。
●LS 四国事務局
〒760-0023 香川県高松市海町2丁目1-1 高松第一生命ビル新館3階(四国EPO内)
TEL: 087-816-2232 E-mail: info@ls459.net

主 催 ●ローカルSDGs 四国(LS 四国) 事務局: 香川県中国四国地方振興局国際交流部、四国県パートナーシップオフィス(四国EPO)
後 援 ●徳島県、香川県、愛媛県、高知県

LS 四国協力機関 消費者庁新米米創造戦略本部、四国財務局、中国四国農政局、林野庁四国森林管理課、四国経済産業局、国土交通省四国地方整備局、四国運輸局、(株)日本政策金融公庫、(株)日本政策投資銀行四国支店、国立大学法人徳島大学、国立大学法人徳島県立大学、国立大学法人香川大学、国立大学法人愛媛大学、国立大学法人高松大学



プログラム

第1部 ローカルSDGs 四国表彰式

10:00 開会/開会挨拶

10:10 ローカルSDGs 四国表彰受賞者事例発表
・加藤建設(高松市) 徳島県
「たけしちのたけしちのたけしち(たけしちのたけしちのたけしち)」
高松市建設局(高松市建設局(高松市))

・ナレーション/審査員
「持続可能な発展への挑戦」
株式会社ライチ(愛媛県)

・ローカルSDGs 四国大賞(ユース部門) 審査員
「愛国ゴールから始まる持続可能なまちづくり」
「ローカルSDGs 四国大賞(ユース部門)受賞者発表」
愛媛県立高松高等学校(愛媛県)

・審査委員特別賞
「徳島の森を守る活動 with あわびん ai-mo 徳島」
株式会社阿波銀行(徳島県)

・トータルコソトリ方式を用いた農やせるごみのリサイクルによる CO₂削減
株式会社エコマスター(香川県)

11:10 ローカルSDGs 表彰式
・大賞1件、部門賞3件、審査委員特別賞2件
・受賞者紹介コーナー
・審査委員代表による総括

11:30 開会挨拶

第2部 ローカルSDGs 四国フォーラム

13:00 開会/開会挨拶

13:10 ローカルSDGs 先行事例発表
NPO 法人とくしまコソトリ推進事務局 安部 亮 氏
(NPO 法人とくしまコソトリ推進事務局 安部 亮 氏)

13:40 LS 四国活動紹介(各3分)
・四国 ESD チーム
・地域エネルギー分科会
・多文化共生の減災社会づくり
・有明会社(平井製粉所) 平井 賢治 氏
環境経営戦略研究所 橋本 英彦 氏

13:50 ローカルSDGs 四国今年度の取組説明

14:10 休憩

14:20 フライアットフォーム(分科会等と意見交換会)
NPO 法人とくしまコソトリ推進事務局 ESD チーム
地域エネルギー分科会
多文化共生の減災社会づくり
有明会社(平井製粉所) 平井 賢治 氏
環境経営戦略研究所 橋本 英彦 氏

15:30~16:00 ネットワーキング
お気軽にご参加ください。任意参加

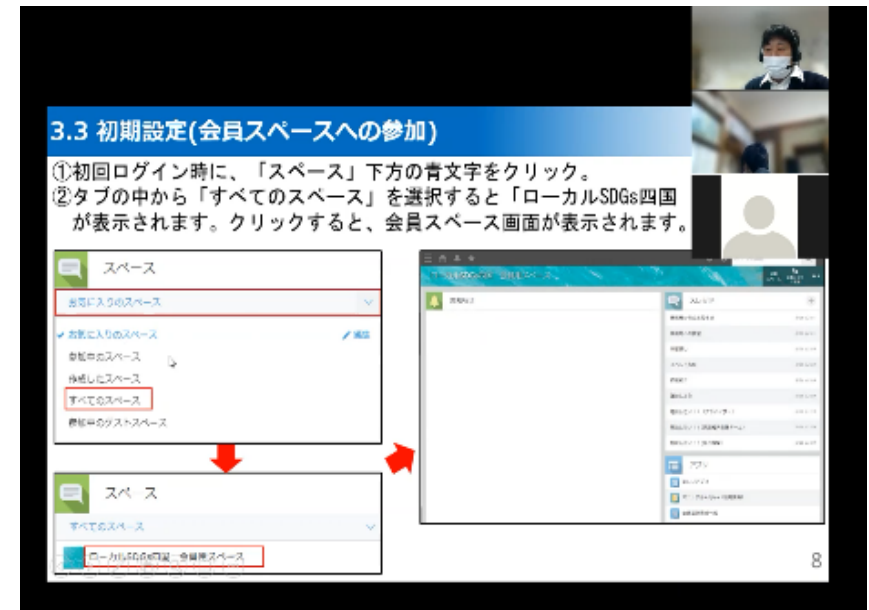
※当日の公表資料は前日までに LS 四国 HP に掲載します。
LS 四国 HP <https://ls459.net/>

特定非営利活動法人 とくしまコソトリ推進事務局
特定非営利活動法人とくしまコソトリ推進事務局は、コソトリをはじめとする多文化の環境と、豊かな自然を活かした地域農業や地域経済の活性化を目的としています。私たちの活動は、国産が産出している「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成を目指します。

2月12日
第1回ローカルSDGs四国表彰式・フォーラム開催
(オンライン)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 I 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

会員間の円滑なコミュニケーションや連携の強化を目的として、9月22日より、サイボウズ株式会社が運営する「kintone」の運用を開始した。



10月15日・10月29日
kintone活用セミナー開催
(オンライン)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 ウ ローカルSDGs四国の創り手人材育成プログラム事業

ローカルSDGsの視点を持ち、四国の地域資源を活用、課題解決に取り組みながら事業を創り出し、動かす人材づくり、他者とココロザシを共に共有し、実現に向けて歩む仲間づくりをめざして実施した。

2021年度 ローカルSDGsで四国を愛する人材になる

ローカルSDGs 四国の創り手人材育成プログラム研修

この研修は、四国の地域資源を活用し、ローカルSDGsの視点をもって、課題解決の方策を探り、事業を創り出し共に動かす人材、ココロザシを共に共有し実現に向けて歩む仲間づくりをめざして実施します。
今年度のフィールドは、香川県と愛媛県。「もったいないものを利用して何か事業にできないか?」、「四国の自然資源をエネルギーに変えられないか?」など、事業化するための方法やIT デジタル活用等、専門家からのアドバイスを受けながら学び、実践に向けての一步を踏み出しましょう!
四国内外から思いを持った若手世代の皆さんの参加をお待ちしています!

●日程：2021年12月23日(木)～2022年3月5日(土)
●参加費：無料(現地視察に係る受講料や集合場所までの交通費は自己負担)
●募集コース：2021年12月20日(月)

コース1 ▶ もったいないロス	コース2 ▶ 再生可能エネルギー
主な研修先-研修協力先(愛媛市内) ▶ バイオガスプラント(ちよだ製作所) ▶ うどん製造現場(さぬき麺業) ▶ 衣類リサイクル・リサイクル品活用	主な研修先-研修協力先 ▶ 太陽光発電、熱利用(えひめ住居モデルハウス) ▶ 小水力発電(伊予市内) ▶ バイオマス発電(内子バイオマス発電所)

応募要件：
SDGsやESDに関心があり、四国で事業(プロジェクト)を起してみたい若手社会人等(専任40歳未満、個人事業主・経営者等を含む)20名程度(定員になり次第×切)、グループ単位での参加(2～5名)を歓迎します。

お申し込み：
4epo@4epo.jp
参加ご希望の方は申込フォームをご利用ください
<https://forms.gle/WBj2narZ4TAGVnKJ7>

お問い合わせ：四国連携パートナーシップオフィス(四国 EPO) TEL 087-816-2232
主催：環境省中国四国地方環境戦略推進事務局、四国連携パートナーシップオフィス(四国 EPO)
後援：四国地方 ESD 活動支援センター(申請中)

この事業はローカルSDGs 四国(LS 四国)の取り組みの一環で実施します。



(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

ウ ローカルSDGs四国の創り手人材育成プログラム事業

研修に参加した9チームがそれぞれの企画を事業化の視点で検討し、参加者からアイデアを得る「Beyondミーティング」形式を経て、今後の活動に活かせる視点を得ることができた。

■事前ワークショップ（会場・オンライン）

日時：2021年12月23日（木）19:00～21:00@Setouchi-i-Base（香川県高松市）、オンライン（Zoom）

内容：講師に池嶋氏を迎え、企画立案に当たって大切な「鳥の目」を養うワークショップを実施。

■フィールドワーク（現地・オンライン）

香川：2022年1月8日（土）10:00～16:00、9日（日）10:40～15:30

もったいないロス：さぬき麺業、ちよだ製作所、セカンドハンド、さくらやを見学

愛媛：2022年1月15日（土）9:00～17:00、29日（土）10:00～12:00

再生可能エネルギー：小水力発電、バイオマス発電、太陽光発電・熱利用の現場を見学

ふりかえり会：2022年1月15日（土）18:00～20:00

■事業企画ワークショップ（オンライン）

日時：2022年2月11日（金）13:00～16:15@オンライン（Zoom）

内容：日本政策金融公庫の岡本氏を迎え、「ビジネスプラン見える化BOOK」を軸としたインプットや研修者の事業企画発表

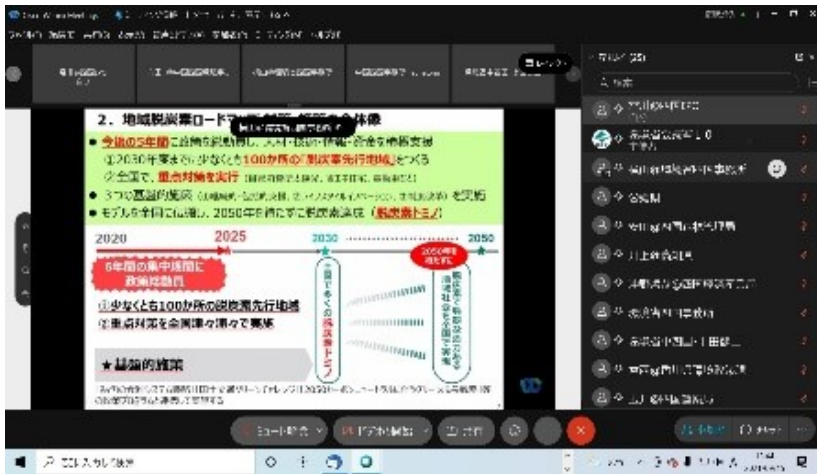
■成果発表会（オンライン）

日時：2022年2月23日（水）13:00～16:00（～16:30）@オンライン（Zoom）

内容：Beyondミーティング形式で研修参加者から企画を発表、「お題」に沿ったアイデア出し、仲間づくり

(4) 他団体主催会議等への参加 (2) 四国地方

脱炭素やSDGsに関する取組など、今後参考となる情報収集を行うことができた。



11月26日
令和3年度
四国地域エネルギー・温暖化
対策推進会議幹事会
(オンライン)

12月21日
第7回全国ユース環境活動発表大会
四国地方大会審査会
(オンライン)

(4) 他団体主催会議等への参加 (3) 全国EPOネットワーク関係

今年度は四国地方での開催となり、GEOCとともに企画や準備を含め、協働で実施することができた。



気候危機突破プロジェクトの始動

既存施策によりゼロカーボンの基盤を構築
 創発的な省エネルギー
 事業活動の脱炭素化対策計画策定、建設物環境エネルギー性能評価制度、家庭の省エネルギー制度 等
 再生可能エネルギーの普及拡大
 地域再生推進事業 (regeneration)、産地の環境ソーラー普及事業、自然エネルギー産地ネット (natural energy network) 等

気候危機突破プロジェクトにより加速化
 県民や事業者、市町村など様々な主体との連携・協働を加速化する気候危機突破プロジェクトにより、2050年度までに二酸化炭素排出量の削減ゼロを目指す。なお、社会状況の変化や技術革新を踏まえ、随時、内容の見直しを図り、必要なプロジェクトを追加する。

1. 脱炭素まちづくり

- ・コンパクト+ネットワークまちづくり
コンパクトシティの推進、都市圏の再編、公共交通機関の充実、ICTを活用した働き方改革、ICTを活用した生活の利便性向上
- ・地域と調和した再生エネルギーの普及
再生可能エネルギーの活用、再生可能エネルギーの普及促進、再生可能エネルギーの活用促進
- ・健康エコ住宅普及促進
省エネルギー住宅の普及、省エネルギー住宅の普及促進、省エネルギー住宅の活用促進
- ・ゼロカーボンビル化促進
省エネルギー、省エネ、省エネ促進、省エネ、省エネ促進、省エネ促進

6月28、29日
 全国EPO連絡会in四国
 (会場(香川県高松市)
 オンライン)

1月12日
 脱炭素勉強会
 (オンライン)